

先週の礼拝メッセージ(2023年4月9日イースター野外礼拝)

「死が死ぬ時」 コリントの信徒への手紙一 15:55-56

「死よ、お前の勝利はどこにあるのか。死よ、お前のとげはどこにあるのか。」

「死の勝利」などという表現は、私たちの日常では使うことはありません。しかし聖書は、「死」は人類の最後の敵であると言っています。私たちクリスチャンには、イエス様の十字架と復活によって永遠のいのちが与えられています。「永遠」のいのちですから当然死というものを経験しません。聖書には、まるで死が人格を持っているように書かれているところがあります。神様は最後の審判にて、サタンや罪を滅ぼされると同時に、死というものも、第二の死と言われている地獄に投げ込むと、聖書は言っています。これがまさに「死が死ぬ時」です。そしてすでに、死に対する勝利は、イエス様によって成し遂げられているのです。イエス様は死を打ち破り3日目によみがえってくださいました。今も生きておられ、イエス様のもとに行く者を救ってくださいます。救われた者のうちには聖霊が与えられ、聖霊はいのちの御霊として、私たちに永遠のいのちを与えてくださるのです。この命がある人は、たとえ肉体は死を迎えても、聖霊によって与えられている永遠のいのちは決して失われることはありません。そして私たちは最後の時、永遠のいのちを持つ者として、神の審判に臨むのです。ですから死は私たちの人生の終わりではありません。このことは、クリスチャンでない人たちもわかっています。人は死んで終わりではないということです。そして死後の世界を考えます。しかし、なぜ死後の世界があり、そこでどうやって生きていくかを知りません。聖書の答えは明確で

す。イエスキリストを信じ、聖霊によってうちに永遠のいのちを持つなら、私たちは死を恐れる必要はないのです。永遠のいのちこそ勝利のしるしなのです。

今日はイースターです。イエス様がよみがえってくださった事実をお祝いするだけでなく、復活によって、死に勝利したイエス様を信じる者には、永遠のいのちが与えられていることを感謝しようではありませんか。主の御名を高らかに賛美しようではありませんか。

